

TOTO

# 床排水ソケット施工説明書

## HP510 HP510E HP510M

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

### 1 安全上の注意

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では機器を正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への障害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示の意味とは次のようになっています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いすると、障害又は物的障害が発生する可能性があります。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	必ず実行していただく「強制」内容です。

	施工の際に使用する部品は付属部品及び指定部品を使用してください。

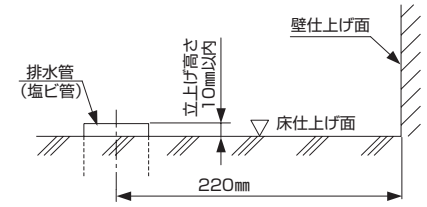
### 2 同梱部品の確認

※施工前に箱の中に下記部品があるかを必ず確認してください。

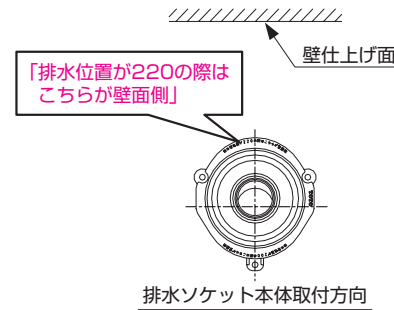
HP510	排水ソケット本体 1個	アダプタ (VU管用) 1個	タッピンねじ 3本	施工説明書 (本紙) 1枚	
HP510E	排水ソケット本体 1個	Pシール 1個	タッピンねじ 5本	施工説明書 (本紙) 1枚	鉛管用フランジ 1個
HP510M	排水ソケット本体 1個	Pシール 1個	タッピンねじ 3本	施工説明書 (本紙) 1枚	

### 3 新設塩ビ管用 (HP510) の場合

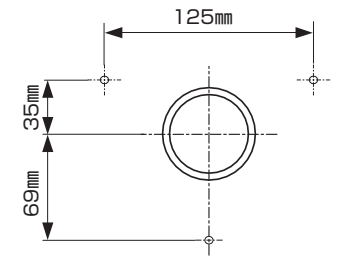
- ①床仕上げ後排水管 (塩ビ管) の位置が正しいか確かめ、右図のように排水管を床仕上げ面から立上げ高さ10mm以内で切断します。
  - ②排水管の中心線をけがき、排水ソケット本体の取付穴位置をけがきます。(右下図参照)  
※取付穴をけがく際は排水ソケットの向きにご注意ください。向きを間違えますと小便器が正常に取り付けられない場合があります。
- けがいた位置にφ3程度の下穴を開けておくとタッピンねじの締付けが比較的容易になります。



排水管 (塩ビ管) 位置及び切断寸法

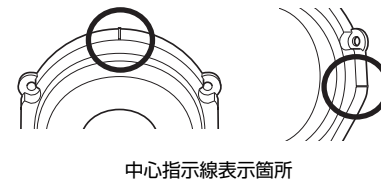


排水ソケット本体取付方向

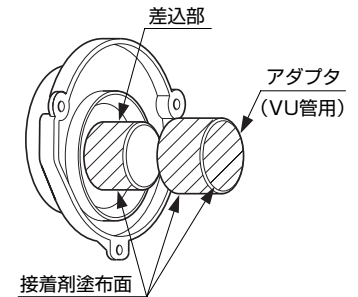


排水ソケット本体固定穴位置

- ③排水ソケット本体の差込部外面と排水管内面に塩ビ用接着剤を塗り、排水ソケットを排水管内面に差し込みます。  
VU管用アダプタ使用の場合はアダプタの内外面にも接着剤を塗ります。  
※必ず排水ソケット本体の中心指示線を排水管の中心線に合わせてください。  
※一度接着しますと手直しができませんのでご注意ください。



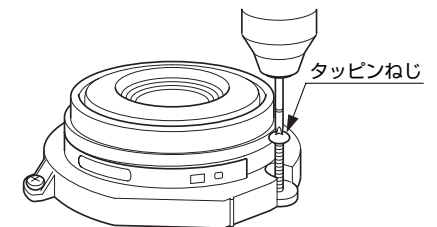
中心指示線表示箇所



接着剤塗布面

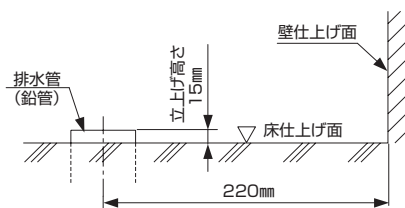
- ④排水ソケット本体をタッピンねじで固定します。

	排水ソケット本体が床に接するようにタッピンねじをしっかりと締め込んでください。タッピンねじの締め込みが不完全な場合、漏水の原因になることがあります。

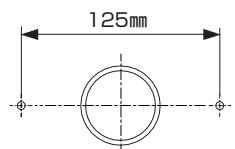


## 4 新設鉛管用 (HP510E) の場合

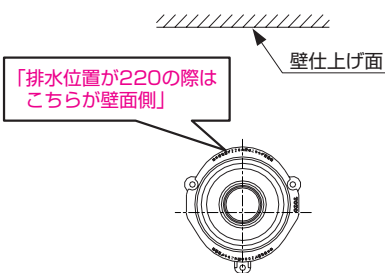
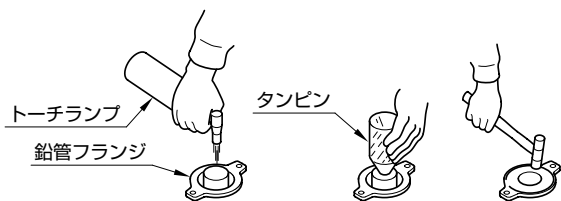
- ①床仕上げ後排水管(鉛管)の位置が正しいか確かめ、右図のように排水管を床仕上げ面から15mmで切断します。
- ②排水管の中心線をけがき、鉛管用フランジの取付穴位置をけがきます。(右下図参照) けがいた位置にφ3程度の下穴を開けておくとタッピンねじの締付けが比較的容易になります。
- ③鉛管用フランジの中心を排水管中心線に合わせて床にタッピンねじで固定します。
- ④排水管をトーチランプで加熱し、タンピン等を使用して先端を膨らませます。
- ⑤排水管を鉛管用フランジ面にそわせ十分に広げ、鉛管の上端をはんだ付けします。



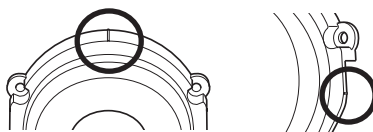
排水管(鉛管)位置及び切断寸法



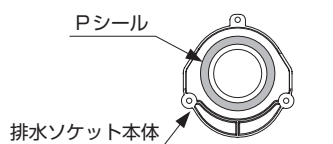
鉛管用フランジ固定穴位置



排水ソケット本体固定穴位置



中心指示線表示箇所



Pシール取り付け位置

- ⑥鉛管用フランジの上に排水ソケット本体をかぶせ、取付穴位置をけがきます。

※必ず排水ソケット本体の中心指示線を排水管の中心線に合わせてください。

※取付穴をけがく際は排水ソケットの向きにご注意ください。向きを間違えますと小便器が正常に取り付けられない場合があります。

けがいた位置にφ3程度の下穴を開けておくとタッピンねじの締付けが比較的容易になります。

- ⑦排水ソケット本体にPシールを取付けます。

※Pシール接着面に付着しているゴミや水分を除去してください。また、Pシール包装紙記載の施工説明書を必ずお読みください。

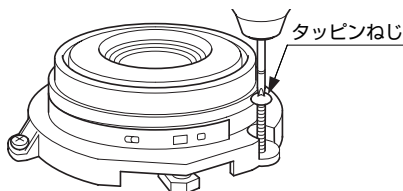
- ⑧排水ソケット本体を鉛管用フランジの上からかぶせるようにしてタッピンねじで固定します。

※排水ソケット本体はPシールがしっかりなじむように押し付けてください。

### ⚠注意

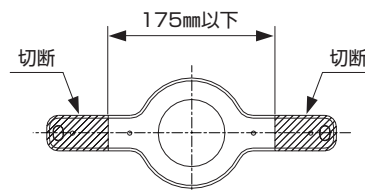


排水ソケット本体が床に接するようにタッピンねじをしっかりと締め込んでください。タッピンねじの締め込みが不完全な場合、漏水の原因になることがあります。



## 5 既設取り替え用 (HP510M) の場合

- ①排水管の位置を確かめます。(右図参照)
- ②幅の広い既設フランジについては下図の寸法で切断します。



既設排水フランジ切断寸法

- ③既設排水フランジに付着しているPシールをきれいに取り除きます。

- ④排水管の中心線をけがきます。

- ⑤既設排水フランジの上に排水ソケット本体をかぶせ、取付穴位置をけがきます。

※必ず排水ソケット本体の中心指示線を排水管の中心線に合わせてください。

※取付穴をけがく際は排水ソケットの向きにご注意ください。向きを間違えますと小便器が正常に取り付けられない場合があります。

けがいた位置にφ3程度の下穴を開けておくとタッピンねじの締付けが比較的容易になります。



中心指示線表示箇所

- ⑥排水ソケット本体にPシールを取付けます。

※Pシール接着面に付着しているゴミや水分を除去してください。また、Pシール包装紙記載の施工説明書を必ずお読みください。

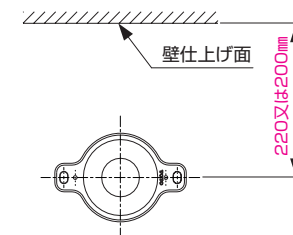
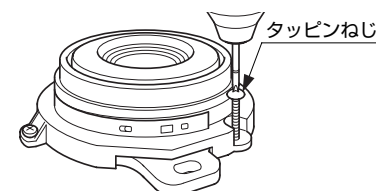
- ⑦排水ソケット本体を鉛管用フランジの上からかぶせるようにしてタッピンねじで固定します。

※排水ソケット本体はPシールがしっかりなじむように押し付けてください。

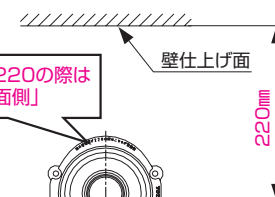
### ⚠注意



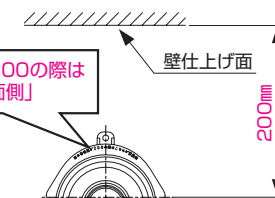
排水ソケット本体が床に接するようにタッピンねじをしっかりと締め込んでください。タッピンねじの締め込みが不完全な場合、漏水の原因になることがあります。



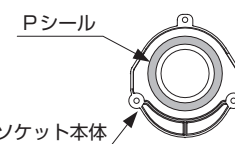
既設排水フランジ位置確認



※排水管位置が壁から220mmの場合  
排水ソケット本体取付方向



※排水管位置が壁から200mmの場合  
排水ソケット本体取付方向



排水ソケット本体

Pシール取り付け位置